

any

ars nova yamaguchi

「エニー」

winter 2014
Jan.—Mar.

87

中原中也記念館の 二十年の歩みと 次の一歩

20



特集

「中原中也記念館

開館20周年」



特集

03 中原中也記念館の
二十年の歩みと
次の一步

「中原中也記念館 開館20周年」

ピックアップイベント

08 新春あけましておめでとうございます

山口情報芸術センター

YCAM10周年記念祭

坂本龍一「ART-ENVIRONMENT-LIFE」

スペシャルコンサート

10周年を締めくくるスペシャルコンサート

YCAM10周年記念祭・坂本龍一「ART-ENVIRONMENT-LIFE」

坂本龍一+高谷史郎「water state 1(水の様態1)」

様々な変化し表情を変えていく「水」に着目

中原中也記念館

企画展I「中原中也記念館の20年」

「ゆつくりするつもりでおいで下さい。」—中也の手紙より—

常設テーマ展示「中也 愛の詩—いとしい者へ」

中也作品にみる様々な「愛」のかたち

山口市民会館

ドキドキ!プリキュア ミュージカルショー

うたとダンスにみんなくぎづけ!

第41回市民コンサート

音楽にかたむける情熱が伝わります

12 any 通信

◎アーティストボイス 坂本龍一(音楽家)

◎お先に試写しました 「共喰い」

◎いらっしやいませ 「中華そば 吟」山口店

◎GOOD GOODS YCAM 10th ロゴ 手ぬぐい

◎My Favorite 菅原真由美(中原中也記念館 職員)

14 イベントカレンダー 1~3月

INFORMATION



中原中也記念館の前庭にあるカイヅカイブキの木。昭和47年に中原中也の生家が火災に見舞われた際も無事焼失をまぬがれ、「中也誕生之地」をいまでも見守っている。

特集「中原中也記念館 開館20周年」

中原中也記念館は1994年2月18日、中也生誕の地である

山口市湯田温泉に設立され、2014年に20周年を迎えます。

中也記念館が歩んできた20年の軌跡、そして次なる一步はどこに向かうのか?



中原中也記念館
開館20周年



中原中也
NAKAHARA Chuya
1907 (明治40)年、山口市湯田温泉で裕福な医者之家に長男として生まれる。16歳頃から京都にて本格的に詩作を始め、のちに東京に移り1934(昭和9)年、最初の詩集『山羊の歌』を出版。また『ランボオ詩集』を翻訳するなど、フランス詩の紹介にもつとめた。1937 (昭和12)年、30歳の時に結核性脳膜炎により鎌倉で永眠。倦怠感や喪失感、そして生への悲しみを抒情的に表現する中也の詩は、没後評価が高まり、今も多くの人々に愛されている。

記念館の20年を、初代館長としてずっと見つめてきた福田百合子さん、10年目に副館長として就任された、現在館長を務める中原豊さん、試行錯誤の中、展示の準備を進める学芸担当の池田誠さん、菅原真由美さん、原明子さん。この度は中原中也と、中也記念館への思いが新旧入り混じるこの5名の方に集まっていたとき、中也記念館の過去・現在・未来について熱く語っていただきました。

最初は市民運動の会から始まり、それから中心となる記念館を、という声が出てくるようになった。

中也記念館はどのような経緯を経て設立されたのですか？

福田 中也を愛する人なら誰でも入りましょうという「平成DADA実行委員会」があって、様々な職業の方が参加され、女性の方も多くて…。そんな熱心な市民運動の会があって、中也の詩「サーカス」にちなんで、中也の詩碑が建立された井上公園にサーカスを呼びましょうという動きがありました。それ以前にも、湯田温泉駅の前の喫茶店に集まって、中也を読み直そうとか、中也を知らない人にもっと知ってもらおうという話合いもよくしていて、山口市民会館などを使って詩の朗読や絶叫コンサートをやったりもしていました。その動きもあってか中也のことが市民一般に知られるようになってきた。そうす

ると中心となる記念館を、という声が出てくるようになったんです。いまからもう30年以上も前の話で。でも私は当時、まだ山口県立大学で教師をしておりましたから、記念館の設立の話にはあまり関わっていませんでした。完成する直前になって山口市の方から「館長に」と声をかけていただいたのです。

手探りで始まった展示はクレームもあり、とにかく大変。

20年を振り返ってみて、中也記念館はどんなふうに変わってきたと思われますか？

福田 最初は手探りででしたから、色々展示に対してクレームがついたこともあり、とにかく大変でした。中也のファンや研究者たちは中也に対するイメージをそれぞれもっていらっしゃるから、観に来た人はそのイメージに合わないと感じた。中也のイメージを壊さず展示をするということがいかに難しいかを実感しました。色んな方からのクレームやご意見も謙虚に聞いていかないといけない。そこから修正を徐々に加えながらあつという間に10年がたったという感じですね。で、(中原現館長は)10年目にいらしたんでしたよね？



福田百合子 FUKUDA Yuriko
中也の母・フクや弟・捨郎が存命中の頃から、中原家との付き合いがある。1994年から2009年まで初代館長に就任。現在は名誉館長として、中原中也記念館を支える。

中也との出会いは、少女時代。

中原 僕はその1年前の2003年に来ました。それまでに中原中也の研究者の方々の「展示内容に問題がある」という激烈な

抗議があり、そこからずいぶん手が加えられ、また企画展も行われるようになったと聞いています。僕が来る少し前に10周年を期に展示内容を新しくしようということで準備をするための展示検討委員会が立ち上がっていました。



中原豊 NAKAHARA Yutaka
2003年、中原中也記念館の副館長(学芸担当)に就任し、様々な展示を担当。2009年からは福田百合子氏に代わり館長を務める。中原家との血縁関係はない。

中也との出会いは、高校時代。

教科書に載っていた「北の海」。その頃色々な詩人の詩集を読んでいて、最も心に深く刻まれたのが中也の詩だった。大学では文学部を選び、中也を研究しようと思った。

福田 研究者の中村稔先生から言われたことが忘れられません。以前は小さな収蔵庫しかなく、これでは資料が収蔵しきれない。温度や湿度をきちんと保った収蔵庫こそ必要だとのことでした。それで収蔵庫が新しく増設されたおかげで、中原家からも多くの中也の資料を寄贈していただくことができたのです。多くの方の叱咤とアドバイスがあり、少しずつ変わっていききました。

逆に20年間まったく変わっていないところはありますか？

福田 それは、(記念館の)みんながいつも中也に向かって突き進んでいる、ということではないでしょうか。中也に向き合っているということが、みなさんの連帯感につながっていると思います。

学芸担当のみなさんは展示を準備する際、どういった点に心を砕いていらっしゃいますか？

福田 展示の準備は大変ですからね。みんな殺気立ちちゃって(笑)。そのとき私は

中也を知っていて当然、という目線をやめる。けれど、中也を知り尽くしている人にとっては新鮮に感じてもらえるように。

あまりみなさんに近寄らないようにしているけど(笑)、どうかしら？

菅原 中也を知っていて当然、という目線はやめたいと思っています。だからといって中也を知り尽くしている人にとっては新鮮に感じてもらえるように、切り口を変えていかないと。ずっと「中也」がテーマであるのは変わらないので。そこは個人記念館の難しいところですね。そういう点では、中也と現代アーティストとのコラボ展シリーズはおもしろい試みかもしれません。

福田 確かに、いままでやったコラボ展はおもしろかったですね。若林佳子さんの押し花や貼り絵の方とか、萩焼の大和保男さんの陶芸、吉田正さんの写真展など、色々な広がりがある。「中也の母・フク」の展示を行ったときは、茶道を愛したフクさんにちなみ、表流山口露山会との共催で、記念館の前庭を会場に「フクさんを偲ぶお茶会」を行ったりもしました。

菅原 違う分野や、時代を取り入れることで、またおもしろいものが生まれ、人の広がりもできますね。

原 私はいま3年目で、昨年度から展示にも関わらせていただいています。そうですね、やはり研究者の目線と中也をまったく知らない方の見方が違うので、その溝を埋めるのが難しいですね。受付に入っているときに、一度「中也は画家ですか？」と聞かれたことがあって。

菅原 「詩人ってなんですか？」と聞かれたこともあります(笑)。でもそういう方がいらっしゃるということも肝に銘じておかないと。

原 色々な方がいらっしゃるの、偏りがないようにと心掛けて、一面だけで展示を

作らないようにしています。中也側の見方だけではなく、周りの色々な視点を立体的に来館者の方に感じていただけるようにできたらいいな、と思っています。

中也の資料がいっぱいあるので、できるだけそれらをたくさんお見せしたい。

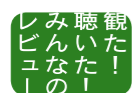
池田 中也の資料がいっぱいあるので、僕はできるだけそれらをたくさんお見せしたいというのはありますね。本当はもっと遺品が残っていたら良かったんだけど。アンケートにも「もっと中也の遺品が見たかった」と書かれるけど、残念ながら残っていないんですね…。そういうものは見せられないけど、わざわざ中也記念館に来ていただいたからには、うちにある資料をできるだけ多くお見せするように心掛けています。



池田誠 IKEDA Makoto
2005年より、中原中也記念館の学芸担当に就任。学芸担当主任。中也の新しい資料のリサーチや研究にも力を注ぐ。

中也との出会いは、中学時代。

教科書に載っていた中也の詩「月夜の浜辺」に興味を抱き、さっそく詩集を近所の本屋さんで注文。届いた詩集を読み、それまでの優しい詩人のイメージとのギャップに驚く。



来てもらって体感してもらおう。

湯田温泉の街がもつ風土や空気を 中也を生み育てた

中原 毎年必ず展示を観に来られる中也の研究者やファンの方々はいらっしゃいます。そういう方に向けてのメッセージと、初めて中也に触れる方へのメッセージと両方含まなければいけない、というのは非常に難しい。いま展示替えをして中身を入れ替えながら常に新鮮なものをお見せするというコンセプトを持っていますが、そうなるについつい専門的になってしまい角度のついた見せ方をしてしまうことがある。慣れた人にはおもしろいけど、初めての人がそんなエッジが利いたものを見せられてもよく分からないだろうし。いま池田さんが言われていたように遺品に常に接する機会をもうけるのも大事でしょうね。やはりファンは、中也という人物にすごく興味をもっているの、人物像が浮かんでくるようなものがある方がいいのでしょうか。

中也記念館の10年後、20年後についてみなさんはどんなふうに想像していますか？
菅原 組織として、というよりも、いまある資料を保ち続けていくことが、これから時間が経てば経つほど、どんどん難しくなってくる。20年先と言ったら保存についてか

なり気を遣っていかないといけないのではないかと思っています。どの文学館も同じ問題を抱えることだと思いますが。いまは原稿用紙に文字を書く作家もだんだんいなくなってきています。中原中也記念館は当然中也の資料を保存し公開していかないといけないのですが、観に来る人にとっては「文学館とは何？」というレベルで、中也の原稿などの資料がだんだん古いもの(見慣れないもの、過去のもの)という見方になってくるかもしれません。そういった時代に合わせる部分も必要になってくるだろうし、逆に新鮮に自筆文字の良さをもっと見せていけたら…。来てみて楽しい、そして「あ、こんなにいいものがあったんだ」ということを知ってもらう工夫が必要なのかなと思っています。



菅原真由美 SUGAWARA Mayumi
2011年より、中原中也記念館の学芸担当に就任。中也記念館の前は、東京・文京区にあった立原道造記念館(2010年秋閉館)に勤める。

中也との出会いは、おそらく中学生の頃。
教科書に載っていたなと記憶している程度。前の仕事では、立原道造の同時代で対照的な詩人として中也をみていた。

中原 中也が残したのは、紙にペンや筆で文字が書かれた資料なんですけど、メディアが急激に変化している現在では少々古くさいものに見えるかもしれません。でも、もっと時間が経てば、今の我々が古典の写本を見るように、貴重な文化遺産として見られるようになる時代が来ます。大切に保存して、その時代に送り届ける努力をしていかないといけないですね。

原 私は、最近詩を読む人が減ってきたんじゃないかと感じています。文庫本の詩集も本屋さんからだんだんなくなってきている。母の世代は詩集を買ってよく



原 明子 HARA Akiko
2011年より、中原中也記念館の学芸担当に就任。学芸担当の中では一番の若手。

中也との出会いは、中学時代。
国語便覧という資料集に載っていた。そのときはあまり興味がそそられなかったが、別の本に挿まれていたしおりにたまたま中也の詩の一節が載っていたのを見て感動。すぐに詩集を買いに走る。

読んでいたと聞きますが、私の周りには詩集を読書で読む人はあまりなくて、中也のことは名前しか知らない。詩を知っている人も少なく、そういう人に文学館に来てもらうのは非常に難しい。美術館のような比較的目に見て分かりやすい展示とはあり方が異なると思うので、中也を起点に、「文学」や「詩」というところを内向きではなく、外向きにも発信していけたらいいですね。色々な角度から詩のことを知って、好きになる入り口やきっかけをもっと作っていかれたらと思っています。

池田 先に話された2人の話にも私も同感で、文学館とはいったい何なのかということがあって、わざわざ中也記念館に足を運んでもらうにはどうしたらいいのか。中也記念館は、中也が生まれた場所に建てられている、そして中也の資料を持っている、この2点が重要。生まれたところにあるということは、中也を生み育てた湯田温泉の街がもつ風土を実際に来てもらって体感してもらうことができる。もう一つは資料があるから、ここに来れば中也の本物の何かに触れることができる。建物としてずっと残していくためには、ここに来なきゃだめだということを作っていかないといけない。だけど、そもそも中也に興味のない人は記念館に来ないじゃないか、という問題もある。「中原中也とはどんな人なんだろう」と思ってもらうにはどうしたらいいのか。最近、中也を知らない10代は本当に多くて、知っていて好き

嫌いというのは分かるけど、知らないと思うしよもない…。

菅原 中也を知る窓口はなんでもいい。とにかく中也に出会ってもらわないと。ふらっと観光目的でもいいから来てもらって、何か一つでも好きなものを見つけて帰ってもらえれば良くて、いずれにしろ記念館のなかに足を踏み入れてもらわないと…。入ってもらうために、建物がちょっと素敵だとか、イベントをやっているとか。そういうアピールを続けていけば、「おもしろそうなことを何かやっている場所」と思ってもらえるかもしれない。

福田 毎年、中也の誕生日にやっている空の下の朗読会もそうで、「中也のことはよく知らないけど、今日はイベントをやっているのね。ちょっと入ろうかしら」と思ってもらえたらいいわね。もう一つは池田さんのおっしゃった風土よね。最初の頃、記念館にはベランダがあって、そこから中原家の木立がみえていたので、「中也の吸った空気かもしれない」と深呼吸をされるお客様がいらっしゃった。そんなわけはないんだけど(笑)。それでも「私は中也が過ごした場所と同じところにいるんだ」という中也ファンはいてくださって、そういう場所の良さ、中也が過ごしたという土地のもつ風土を感じてもらおうということよね。ぜひこれからも多くの方に中也と同じ空気、風土を感じていただきたいものです。



20

中原中也記念館
開館20周年

中原中也記念館 開館20周年

- 企画展I「中原中也記念館の20年」
2014年2月16日(日)～7月27日(日)
- 常設テーマ展示
「中也 愛の詩—いとしい者へ」
2014年2月16日(日)
～2015年2月15日(日)

(詳しくは本誌P10参照)

PRESENT

中原中也の詩集ならびに
中原中也記念館の
オリジナルグッズをプレゼントします。

【申込方法】ご希望の方は下記のプレゼント番号を明記の上、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、1月31日(金)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

A 中原中也詩集 「汚れつちまつた悲しみに……」(1名)

30歳で夭折した天才詩人・中原中也の詩を収録。1991年、集英社文庫より刊行。(解説・新保祐司/鑑賞・秋元康)



B オリジナルグッズ 「一筆箋」(3名)



C オリジナルグッズ 「クリアファイル3点セット」(3名)



【あて先】〒753-0075 山口市中園町7-7
(公財)山口市文化振興財団
「any vol.87 特集プレゼント」係
FAX:083-901-2216 e-mail:any@ycfcp.or.jp
※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

在りし日の中原医院の姿を伝える写真。中原医院の建物は、昭和47年に焼失。いまは写真のカイツカイブキの木のみ残る。



観
聴
み
聞
き
の
！
！
！

◎霧と音楽のバランスが最高！来て良かった。(30代女性「LIFE-WELL インスタレーションライブ」より)
◎舞台上に水が写って綺麗。萬籟さんの影が切り絵のようだった。(40代女性 能楽コラボレーション「LIFE-WELL」より)
◎「文学界」の表紙をたくさん見ることができ楽しかった。「学」の字が上に少し上がついているという解説文も嬉しかった。(20代女性「『文学界』と中原中也」より)
◎映像、音楽共にどこかオーガニックで気持ちの良いライブ上映でした。(40代女性「上映×ライブ」より)

観
聴
み
聞
き
の
！
！
！

◎いつものスタジオCと違い、音が体験できました。(50代男性「YCAM 雑音上映会」より)
◎能面の緊張感ある表情と空を切り裂くようなお囃子、不気味に調和する地謡と空気を震わせるようなピアノ。こんな能を観てみたかった!!(40代女性 能楽コラボレーション「LIFE-WELL」より)
◎戦争へ突入していく当時の状況下でひたむきに文学にはげむ中也の姿を垣間見た。(30代男性「『文学界』と中原中也」より)



新春あけましておめでとうございます

山口情報芸術センター (YCAM)

http://10th.ycam.jp/

YCAM10周年記念祭
坂本龍一「ART-ENVIRONMENT-LIFE」
スペシャルコンサート

2014年1月5日(日) 14:30開演
会場:ホワイエ、スタジオA

10周年を締めくくるスペシャルコンサート

YCAM10周年記念祭のアーティストック・ディレクターを務める音楽家・坂本龍一の展覧会「ART-ENVIRONMENT-LIFE」では、坂本とアーティストの高谷史郎が山口に滞在し、YCAM InterLabとのコラボレーションのもと制作した3つの展示作品を発表しています。その中でもホワイエで公開中の「Forest Symphony」、スタジオAの「LIFE」、これら2つの展示空間を行き来する形で、坂本龍一と笙奏者



の宮田まゆみを迎えて、ニューイヤーにふさわしいスペシャルコンサートを行います。常に新しい音楽やアートの世界に挑戦してきた坂本龍一によるピアノと、宮田まゆみによる笙の響きがどうコラボレーションしていくのか。ご期待ください。

わたしはココに注目する!

スペシャルコンサートとあわせてアーティストトークもお楽しみください。
坂本龍一「ART-ENVIRONMENT-LIFE」アーティストトーク
2014年1月5日(日) 13:00~14:00
会場:ホワイエ(全席自由)
[出演]坂本龍一、高谷史郎 [モデレーター]浅田 彰
※スペシャルコンサートのチケットをお持ちの方のみ参加可能です。

チケット情報 | 前売券は完売しました。※当日券の販売についてはお問い合わせください。
料金 | 全席指定 前売 一般 3,000円 any会員・特別割引・25歳以下 2,500円
当日 3,500円

[出演]坂本龍一(ピアノ)、宮田まゆみ(笙)

YCAM10周年記念祭・坂本龍一「ART-ENVIRONMENT-LIFE」
坂本龍一+高谷史郎「water state 1(水の様態1)」

開催中~3月2日(日) 10:00~19:00
会場:スタジオB

様々な変化し表情を変えていく「水」に着目



現在YCAMでは、坂本龍一と高谷史郎による3つのインスタレーション作品を公開中。そのうちの1つ「water state 1」は、坂本龍一がかねてから強い関心を示してきた「水」をテーマに創作された新作です。生命を支える根源的な物質であり、状況に応じて様々なかたちに姿を変える「水」。その変化はとらえどころがなく、作品のモチーフにするのは困難とも思われましたが、2人のアーティストとYCAMのInterLabスタッフが何度も

協議と実験を重ねた結果、大量の水滴を自在に落下させることができる装置を開発。これによって、水が見せるさまざまな表情を、間接的に表現するのではなく、水そのものを使って表現する可能性が生まれました。本作では、水滴と水面の複雑な変化を生み出すとともに、その様相をサウンドへと反映。視覚と聴覚の調和とコントラストが観る者に多様な記憶を喚起させていきます。

わたしはココに注目する!

薄く水がたたえられた水槽にぼつぼつと水滴が落ちて広がる波紋。あるいはモーターの振動が描き出す細かい波動。水面の動きに合わせて変化していく音響とともに、次々に様変わりする水面の変化はとて美しく、また躍動的で、つい時が経つのを忘れ静かに見入ってしまう作品です。

料金 | 無料

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
■いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

anyでは、2013年の1年間、山口情報芸術センター、中原中也記念館、山口市民会館の3館が企画する様々な事業を紹介してきました。ご覧になっていかがでしたか?
心に残った記事や事業がひとつでもあれば非常に嬉しいです。
これからもたくさんの魅力的な企画情報をみなさまのもとにお届けしていきます。
2014年もどうぞよろしくお申し込み申し上げます。

mini PICKUP!

「映画を2回観る会」

2014年1月12日(日)、
2月23日(日)、3月16日(日)
各日14:00~
会場:山口情報芸術センター
スタジオC



今年度も教育普及スタッフが講師となって、あるいは専門家をゲスト講師に迎え、参考写真:2012年開催の様子 3回シリーズで行う人気の企画「映画を2回観る会」。アニメーションや短編映画など、子どもから大人まで楽しめる名作、あるいは映画史上において重要と思われる作品を毎回ピックアップし、一度映画を鑑賞した後、みんなでその映画について語り、再び鑑賞するというワークショップ型の映画鑑賞会です。感想を共有する時間では、同じような印象を語る人もいれば、まったく想像もしなかった意見や感想も飛び出し、観る人によってこんなにも感じ方や観るポイントが違うのかと驚かされます。さあ、みんなで一緒に映画を観て、語って、楽しもう!

[料金]無料(要申込)
[対象]小学4年生以上
(3年生以下は応相談)
※申込方法等詳細はお問い合わせください。

イベントレポート

能楽コラボレーション
「LIFE-WELL」



2013年10月22日に行われ、坂本龍一と野村萬斎という豪華な顔ぶれとともに、メディアアート×能楽という世界初の試みが注目を集めた能楽公演「LIFE-WELL」。貴重な上演を見逃すまいと全国各地から観客が集まりました。空中に吊られた9つの水槽、そのなかでゆらめく水、霧に映し出された映像と光が混然一体となり怪しくも美しい舞台空間を作り出し、またその下で、野村萬斎と当代一流のシテ方・梅若紀彰、最高の技術力・表現力をそなえた囃し方によって能・狂言の世界が展開していく様はまさに圧巻。古典芸能がもつ身体力強さと独特のリズム・音楽表現、さらには囃し方と、ピアノでセッションする坂本龍一の見事なパフォーマンスは、多くの観客の心に感動と余韻を残しました。

中原中也記念館

http://www.chuyakan.jp/

企画展I

「中原中也記念館の20年」

2014年2月16日(日)～7月27日(日)

「ゆつくりするつもりでおいで下さい。」—中也の手紙より—

中原中也記念館は2014年に開館20周年を迎えます。1994年2月18日、中也生誕の地である山口市湯田温泉に設立されてから今まで、中也自筆原稿などの



関係資料収集・保存や、様々なテーマの展示、教育普及等の活動を通じ、中也の業績を広く伝えてきました。これまでに市民の方をはじめ、湯田温泉に宿泊された旅行者、全国の中也ファンなど、たくさんの方が記念館を訪れ、中也と中也の詩に関わる数多くの資料をご覧いただきました。

本展では、中原中也記念館の20年の歩みをたどりながら、主な収蔵資料、公共建築100選にも選ばれた建築、ゆかりの方々からのメッセージなどをご紹介します。中也記念館がどんな20年を歩んできたのか、その軌跡をゆつくりと味わってみてください。

わたしはココに注目する!

中原中也記念館では、20年の間、様々なアプローチとテーマで展示を行い、数多くの資料をご紹介してきました。あなたはどのテーマの展示をご覧になったことがありますか? 今回の展示資料をみれば、記念館で過ごした思い出がよみがえるかもしれません。

入館料 | 一般 310円(262円) / 大学生 210円(157円) / 小中高生 150円(105円)
※70才以上は無料 ※()内は20人以上団体料金 ※あわせて常設テーマ展示もご覧いただけます。

常設テーマ展示

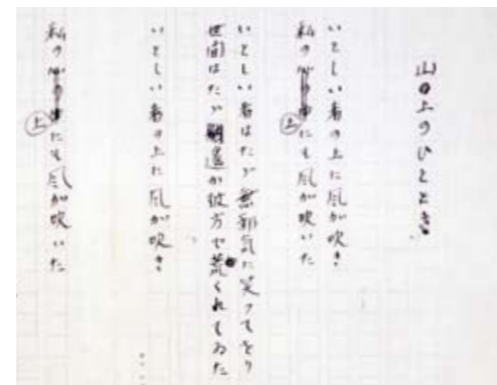
「中也 愛の詩—いとしい者へ」

2014年2月16日(日)～2015年2月15日(日)

中也作品にみる 様々な「愛」のかたち

中原中也は、恋人や家族をどのようにとおしみ、作品に描いていたのでしょうか。たとえば、中也と恋人関係にあった女優・長谷川泰子をめぐる出会いと別れは、作品へと昇華され、「妹よ」や「盲目の秋」など、魅力的な恋愛詩をたくさん生み出しました。また一方で、幼い息子を深く愛し、そして日記や書簡からは、妻・孝子や母・フクに対する細かい心配りが感じられ、家族に対する中也の愛情深い一面が見て取れます。こんなふうに中也のこぼれから感じられる様々な「愛」のかたち。今回のテーマ展示では、中也の作品や書簡などに表れる「愛」の表現を取り上げ、ご紹介します。

入館料 | 一般 310円(262円) / 大学生 210円(157円) / 小中高生 150円(105円)
※70才以上は無料 ※()内は20人以上団体料金 ※あわせて企画展もご覧いただけます。



「山上のひととき」原稿(部分)

わたしはココに注目する!

長谷川泰子は晩年、中也との思い出を語り、「ゆきてかへらぬ 中原中也との愛」として出版されました。今回の展示では、その貴重な音源を公開します。中也を魅了した女性の声は一体どのようなものだったのか? ぜひ展示でお確かめを。

◎さすが松尾スズキです。また山口で见たいです。(40代女性 演劇公演「悪霊」より)
◎神社境内の木立という空間に電子音が響き渡る、何とも不思議な気分でしたが心地良かったです。(40代女性 「LIFE-WELL インスタレーションライブ」より)
◎萬斎さんを初めて生で拝見しましたが、やはりすばらしかったです。幻想的な舞台でした。(20代女性 能楽コラボレーション「LIFE-WELL」より)
◎「文学界」は日本の文学者面々が名を連ね、懐かしい作家が目にとまる。なんだか嬉しくなる。(80代男性 「文学界」と中原中也)より

山口市民会館

http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/

ドキドキ!プリキュア ミュージカルショー

2014年2月23日(日) 11:00開演 / 14:00開演

会場:大ホール

うたとダンスに みんなくぎづけ!

女の子に絶大な人気を誇るアニメシリーズ「プリキュア」。その「プリキュア」の本格ミュージカルショーがついに山口市民会館にやってきます。ステージと客席が一体となる、臨場感の高いミュージカルショーとして評価が高く、全国各地どこでも大人気の企画として好評を博しています。プリキュアたちが巻き起こすハラハラドキドキの物語には、子どもも大人も手に汗にぎり夢中に。声を出して応援する子どもたちの姿もたくさんみられます。またテーマソングを歌う歌手・吉田仁美のライブの歌声に合わせて、みんなで歌ったり、踊ったり、盛り上がりは最高潮に。親子で充実した時間が過ごせるとともに、楽しい思い出を作ることができます。ぜひこの冬はプリキュアに会いに市民会館へお出かけ!

チケット情報 | 発売中
料金 | 全席指定 前売 一般 3,000円 any会員 2,700円(1会員4枚まで)
当日 3,500円 ※3歳以上有料、2歳以下膝上鑑賞無料

第41回市民コンサート

2014年3月21日(金・祝) 13:00開演 (予定)

会場:大ホール

音楽にかたむける情熱が伝わります

毎年春分の日に開催される恒例の「市民コンサート」。今年も山口市民会館を会場に行われます。今年度内に開催された各種音楽コンクールで、優秀な成



料金 | 無料

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
■いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。



©ABC・東映アニメーション

わたしはココに注目する!

テーマソングを歌う歌手・吉田仁美さんが出演する今回の公演は、全国でも数が少ないスペシャルバージョン。さあ、みんなでのもいっすり歌と踊りを楽しもう!!



第18回ニューイヤー バンドフェスティバル2014

2014年1月13日(月・祝)

10:00開演

会場:山口市民会館 大ホール

山口市内の小学校、中学校、高校、大学、一般の音楽団体が、山口市民会館に一堂に集い、日頃の練習の成果を発表する毎年恒例のニューイヤーバンドフェスティバル。ここでは、クラシックからポップスまでさまざまな吹奏楽の音楽を一度に味わうことができます。さて、今回はどんな曲目をどの団体が披露するのでしょうか。入場無料なので、気軽に足をお運びいただけます。たくさん素敵な音楽と、音楽の喜びに出会えるコンサートです。ぜひご家族、お友達を誘って今年もまたご来場ください。

[料金]無料

バックステージへ ようこそ



今回はお客様が普段は入れない市民会館の裏の場所をご紹介します。ここは大ホールの楽屋。40年以上の歴史の中で、市民の方々に愛用されてきたのはもちろん、著名な音楽家・舞台役者・文化人も多く訪れ、この楽屋を使ってこられました。みなさんの胸のなかに残る名演奏、名演技や講演会の数々。その出演者たちはこの楽屋でどんなふうにご覧されたでしょう。また、出演前と終了後のひととき、どんな気持ちで楽屋を出入りしたでしょう。そんなことを想像すると、わくわくと同時に、市民会館の歴史の重みを感じることができます。これからもこの楽屋を、本番のために奔走する舞台スタッフや出演者が多く行き交うことでしょう。

わたしはココに注目する!

山口市民が誇る優秀な成績を収めた音楽家、部活動で毎日のように練習にはげむ中高生たち。演奏者のそれぞれの音楽にかける思いや情熱がここにはぎゅっととじこめられています。その思いは聴く者へもしっかりと届き、感動を呼び起こします。

検定 中也

Q 旧制中学校時代の中原中也は短歌を書いていました。作品が「防長新聞」の歌壇欄にたびたび掲載され、当時刊行された合同歌集『末黒野』にも「温泉集」と題して28首を収めるなど、その活躍によって少年歌人として知られていました。次の短歌は中也が「防長新聞」に最後に発表した18首の中の1首です。〈母校〉とは、下字野令尋常高等小学校(現・湯田小学校)か山口師範学校附属小学校(現・山口大学教育学部附属山口小学校)のいずれかで、そこを訪れての感慨が歌われています。さて、中也が歌ったのはどの言葉の組み合わせだったでしょう。

来てみれば [A] の我を
[B] にする子等もありけり
夕日の運動場(母校に来て)

- 1 A:彼処 B:此処
- 2 A:年長 B:友
- 3 A:昔 B:今

答えは14ページ

中也を味わう



「一箱古本市&カフェ」の様子

「一箱古本市&カフェ」

中原中也記念館では、10月22日の中也の命日前後の1週間を「中也ウィーク」と題し、「文学散歩バスツアー」、「中也忌」など、中也を偲びながら多彩なイベントを開催しました。最終日には「一箱古本市」と「カフェ」が記念館の前庭に出現。6グループが出店した一箱古本市は、それぞれ個性ある品揃えで来場のお客さまを楽しませていました。またカフェでは、山口県立大学の学生たちが企画した中也の詩とコラボレーションしたユニークなイベント「メイシ(名詩/名刺)交換会」が行われ、中也の詩に親しんだことのない方も「自然と中也の詩に触れることができた」と大好評。どのイベントもたくさんの方にご参加いただき、いろんな形で中也の詩やことばを身近に感じていただいた1週間となりました。

覗き聴いた
みんなあなた
の!

any通信

駆けていくように
過ぎた1年
今年はゆっくりのんびり
過ごしたい



中也の生きた時代を感じる 映画上映



2012年、「中原中也を読む会 第100回記念」の企画として、YCAMにて行

われた映画「眠れ蜜」の上映会。そのときの評価が非常に高かったため、この度中原中也記念館の20周年記念事業として、再上映が決定しました。「眠れ蜜」は、岩佐寿彌監督、佐々木幹郎脚本で1976年に制作。3部構成となっており、第3部には中原中也と恋人関係にあった長谷川泰子が女優として登場します。長谷川泰子とは一体どんな女性だったのか？この映画は教えてくれるでしょう。前回見逃している方は、この機会にご覧ください。

中原中也記念館 閉館20周年記念事業
「映画で知る中原中也」
「眠れ蜜」上映+トークイベント
2014年2月16日(日) 14:00～
会場:山口情報芸術センター スタジオC
[料金] 無料
[ゲスト] 佐々木幹郎(詩人)

幅広い世代が通ったサマースクール
これからのものづくりに欠かせない技術やプログラムがしっかり学べ、またその技術を応用し、次なる作品制作へと創造の幅を広げることができるものづくりの学校「サマースクール」が、夏の間、YCAM館内にオープン。ここではYCAMスタッフが講師となって、3Dプリンター講習やサウンドプログラム、映像編集、レーザーカッター、デザインなど、幅広いメニューを準備。



参加者はその中から好きなメニューを受講することができます。会期中子どもから年配の方まで幅広い世代の人たちが参加し、ものづくりの楽しさを実感していました。なかには、学んだ映像の編集技術を使って、自分の学校の文化祭でプロジェクションマッピングを発表する中学生が登場するなど、嬉しい報告も聞こえています。あまりの好評の声に、会期を延期し、11/1～12/1の間も土日祝日で開催。さらに多くの方に利用していただく機会となりました。YCAMでは、今後もみなさんの創造力を刺激・誘発するようなプログラムを準備していきます。2014年もご期待ください!!

ARTIST VOICE

アーティスト
ボイス

坂本龍一 (音楽家)

YCAM10周年記念祭のアーティスト・ディレクターとして、これまで度々山口に滞在されてきた坂本龍一さん。世界をまたにかけ、幅広く活躍される坂本さんの目にはYCAMがどのように映っているのか、改めて伺ってみました。

YCAMのみんなのことは家族のように感じています。



10周年が始まってからはとくに期間的にも長く山口に滞在しているので、半分山口に住んでいるような感覚ですね。YCAMのみんなのことは、10周年のプログラムを夜まで考えたり、ミーティングのためにしょっちゅう顔を合わせてきたので、家族のように感じています。今回ディレクターだからといって、まさかこんなにも自分が関わる作品が多くなるとは思っていませんでしたが、このような施設は他にありませんし、スタッフ

とゼロから新しい作品を作る経験ができ、楽しかったです。YCAMはこれまでに幅広いプログラムをされていますが、常にその中心にあるのはメディア・アート。ただ、10年たってもメディア・アートはまだ縁遠いと感じている人はいるでしょう。よりその人の生活に関係があるもの、いままでメディア・アートのテーマになってこなかったものにも踏み込んでいく、たとえば今回のプログラムの一つ「LIFE by MEDIA」はその足がかりになるかもしれませんが、今後のYCAMにとって人間が生きていることとメディアとをどう関係づけるのかという視点はより重要になってくるのかもしれない。

「LIFE-WELL」 インスタレーション 2013年11月2日 会場:



2013年の10～11月に、野田神社の境内で限定期間公開されたアート作品「LIFE-WELL」インスタレーション。多くの鑑賞者から高い評価を集めたこの作品空間のなかで、坂本龍一と、ゲストに音楽家・Ametsubを招いてのラップトップコンサートが行われた。2人による緊張感のあるセッションは、繊細な音の空間を作り出し、インスタレーションの霧がもたらす湿度や光、野田神社のもつ神秘的な空気の中に溶け込み、その日集まった約300人の聴衆を魅了していた。

坂本龍一 SAKAMOTO Ryuichi

1952年生まれ、米国ニューヨーク州在住。78年「千のナイフ」でデビュー、同年YMOに参加。YMO解散後、数々の映画音楽を手がけ、作曲家として米アカデミー賞を受賞するなど世界的な評価を得つつ、常に革新的なサウンドを追求している。2011年東日本大震災復興支援プロジェクトとして、「LIFE311 by more trees」「こどもの音楽再生基金」[www.kizunaworld.org]を立ち上げるなど、様々な活動を続けている。



© 田中慎弥 / 集英社・2013「共喰い」製作委員会

「共喰い」

(2013年/日本/102分/R15+)
[監督] 青山真治 [原作] 田中慎弥(「共喰い」集英社文庫刊)
[脚本] 荒井晴彦 [出演] 菅田将暉、木下美咲、篠原友希子、光石研、田中裕子

みなさんは観る映画をどうやって選んでいるだろうか？ 出演する俳優さんで選ぶ人もいれば、コメディやシリアスなドラマなどジャンルで選ぶ人もいるだろう。私は、だいたい監督で選ぶことが多い。本作「共喰い」も、青山真治監督の最新作ということできっと楽しみにしていた。ただ今回は、原作が田中慎弥さんで、脚本が荒井晴彦さんということで、なんとなくイメージはしていたものの、予想以上だった…と、いたって感想にもならない感想しが言えず、どこかに書いてよいのか分からず困ってしまった。というのも、前半から後半の最初の方まで、なんとも言えない嫌な空気で、観る人によっては、辛いと感じる方もいるかもしれない。しかも、登場人物にいちいちイラッとしてしまう。まあそれだけ演技が上手だったり、演出が素晴らしいかったり、台詞がすごいということなの



© 田中慎弥 / 集英社・2013「共喰い」製作委員会

「共喰い」作品紹介

舞台は昭和63年の山口県下関市。父とその愛人と暮らしている17歳の遠馬は、暴力的な性癖を持つ父を疎ましく思っていた。しかし、彼は父と同じ忌まわしい血が自分にも流れていることに気がついてしまう…。下関市在住の芥川賞作家・田中慎弥の同名小説を映画化。

お先に
試写
しまし
方

だろうが、おそらくそれらとも違う何か別の要素もあるからだろう。それでも、なぜか観るのを止めることもできずにいると、後半に差しかかるぐらいから、劇中でいいことが別に起きたわけではないのに、だんだん救われた気になってくる。本当にそこは不思議なぐらい。そして、むかえるラストシーンへの流れがすごく良かった！ 青山監督の作品のラストは、いつも色々な感情がじわじわと尾を引く…。ぜひスクリーンでご体感あれ。

松富淑香 (YCAM シネマ担当)

2014年3月21日(金) 13:30～/19:00～
22日(土) 13:30～/16:00～
23日(日) 13:30～/16:00～
会場:山口情報芸術センター スタジオC
[料金] 一般 1,300円
any会員・特別割引/25歳以下 800円

いらっしませ



中華そば・極味
(並)600円

こだわりと愛情がたっぷり極上の一杯
今日は定番メニューから、こってり味の極味をチョイス！ おお、背油が浮かんで、みるからにこってり。いい香り～。さっそくいただきます。ずるずるっ。ふわ～、麺にしっかりスープがからんでうまい!! 牛骨と豚と鳥でダシをとってじっくり煮込んだその複雑な味わいが一度に口の中にひろがる。続いてチャーシューをばくりっ。なんと柔らかでジューシー。自家製スープでボイルしてから、さらに自家製しょうゆに付け込んで味をしっかりとみこませて柔らかく煮込んでいるのだとか。背油も自家製と聞いてびっくり! 店長の内藤さんいわく「一番こだわっているのはやはりスープですね。手を抜くとすぐ味に出てしまう。素材と作り方へのこだわり、おいしく食べてもらいたいというお客様への愛情…すべてが溶け込んだ極上の一杯!!

「中華そば 吟」山口店
山口市糸米2-7-7 TEL.083-921-3007
営業期間:11:00～22:00
※any会員の方は中華そばのトッピングが1品無料に。

GOOD GOODS



YCAM 10th ロゴ 手ぬぐい

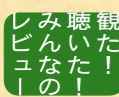
おしゃれで粋な手ぬぐい片手におでかけを。
デザイナー 柿木原政広さんによるYCAM10周年記念祭のロゴがあしらわれたオリジナル手ぬぐい。可愛いデザインについて目がひかれてしまいます。カラーは緑・ピンク・ブルーの3色。どの色を選ぶか悩んでしまう…。ワンコインで購入しやすいのもあって、イベントを観に来られたお客様に大人気のこの商品。在庫がなくなり次第販売は終了しますが、まだ間に合います。購入されていない方はぜひこの機会に! 首に巻いてお出かけするもよし、誰かへのお土産に買って帰るもよし。すっかり寒くなったので、YCAMの帰りに手ぬぐい持って湯田温泉の足湯をめぐり、ほっこり足を温めるのもおすすめです。

価格: 各500円(税込)

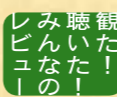
My Favorite

中也記念館1階の中也記念室(通称・読書コーナー)から2階へ。中也の帽子をイメージして設計されたこのスペースは、階段のジグザグやストライプ、天井の丸みなど、いろんなデザインが楽しめます。夕暮れ時にはほの暗さが素敵な雰囲気、ここがバーになったらいいのにな、とつい妄想してしまうのでした。

菅原真由美 (中原中也記念館 職員)



●出演者全員がとてもしばらくして、楽しくもあり悲しくもある舞台でした。(40代女性 演劇公演「悪霊」より)
●ゾンビのもざり最高でした!! (30代男性 「YCAM」爆音上映会より)
●古典芸能と西洋音楽とテクノロジーが共鳴しているように思いました。(30代男性 能楽コラボレーション「LIFE-WELL」より)
●映像と音に飲み込まれるような感じがして、とてもおもしろかったです。(30代男性 「上映×ライブ」より)



●能楽を観るのは初めてですが、舞の動きや拍子のおもしろさに引き込まれました。(20代女性 能楽コラボレーション「LIFE-WELL」より)
●空族とのトークは圧巻でした。空族の社会意識の深さ高さに敬意を表します。(40代女性 「YCAM」爆音上映会より)
●興業的には難しかったようですが、山口でこれだけ濃い劇を見られて幸せです!(40代男性 演劇公演「悪霊」より)
●環境と未来へどうつながっていくかのテーマを考えるきっかけになるプログラムでした。(30代男性 「LIFE-WELL」インスタレーションライブより)

1 January

2 February

3 March

掲載内容は2013年12月1日現在のものです。変更場合がありますので、ご了承ください。

山口情報芸術センター
(YCAM)
http://10th.ycam.jp/
※年末年始のお休み12/29~1/3

アート

開催中
坂本龍一「ART-ENVIRONMENT-LIFE」
「LIFE-fluid, invisible, inaudible...Ver.2」
「Forest Symphony」
「water state 1」(本誌P9参照)

ライブ

5 坂本龍一「ART-ENVIRONMENT-LIFE」アーティストトーク&スペシャルコンサート(本誌P9参照)

シネマ

9 13 16 19 23 26 30 2 6 9
大島渚レトロスペクティブ ※1/11、2/8 関連トークあり(ゲスト:1/11 冨永昌敬、2/8 大島新×濱崎好治)

その他

12 映画を2回観る会 vol.1(本誌P9参照)

山口市市民会館
http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/
※年末年始のお休み12/29~1/3

13 第18回ニューイヤーバンドフェスティバル(本誌P11参照)

中原中也記念館
http://www.chuyakan.jp/
※2014年2/15までは
改修工事にとまなう休館

16 企画展I「中原中也記念館の20年」(本誌P10参照) ~7/27

16 常設テーマ展示「中也 愛の詩—いとしい者へ」(本誌P10参照) ~2015/2/15

24 中原中也を読む会
会場:山口情報芸術センター

28 中原中也を読む会

28 中原中也を読む会

[マーク説明] 体験する 参加する 聴く 観る

INFORMATION

■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

予約方法

インターネット 山口市文化振興財団ホームページ(要事前登録・24時間受付)



http://www.ycfcp.or.jp/

※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。

電話 チケットインフォメーション(10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

TEL. 083-920-6111

窓口 チケットインフォメーション(10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

山口情報芸術センター

※先行予約初日はインターネットまたはお電話のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

支払方法

クレジットカード インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

チケットのお受け取りはお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

セブンイレブン インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

窓口 ※上記予約方法「窓口」参照

■託児サービスについて

山口市文化振興財団では
託児サービスを行っています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。
お子様の食事は事前に済ませておいてください。

公演開催時

[対象] 0才(6ヶ月)以上
[料金] 1人につき500円、
2人目以降は1人につき300円
[時間] 開演の30分前から終演後30分まで
[申込方法] 公演日の1週間前までに左記チケット
インフォメーションまたは山口情報芸術センターに
てお申し込みください。
※公演によっては行わない場合もございます。
事前にお問い合わせください。

山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上
[料金] 1人につき30分150円
[時間] 13:00~17:00 1回2時間まで
(山口市立中央図書館休館日を除く)
[申込方法] 当日、山口情報芸術センターにて
お申し込みください。満員の際は順番制となります。

any 会員募集!

※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

any会員は、山口情報芸術センターや山口市市民会館などで行われる財団主催・共催の公演
や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための会のです。
公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

[年会費] 1,500円+入会金500円 ※会員期間内に更新される場合、入会金は不要です。
[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで
[会員特典] チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、
情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



公益財団法人
山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion
〒753-0075 山口市中央2-5-1
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488
http://www.ycfcp.or.jp/ zaidan-info@yfcpr.jp

編集後記

本号のような1月1日号は12月が編集の大詰め。この時期は残りわず
かとなった「今年」を振り返ることが多くあります。急に思い出し笑いで
にやにやしたり、あるいはセンチメンタルな気分になっていたり…。
2013年は濃い1年だったなあ。[M.D]
サマースクールで大人気だった3Dプリンターを体験しました。下から
徐々に材料が積み重なって動きに目が釘付け。思い通りのフィギュ
アができるなんて、ワクワクします。次は何を作ろうかな? [TL]

- A 中原中也記念館**
〒753-0056 山口湯田温泉1-11-21
TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431
[開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで) [5~10月]
9:00~17:00(入館は16:30まで) [11~4月]
[休館日] 月曜(祝祭日の場合は翌日)、年末年始
http://www.chuyakan.jp/ chuyakan@c-able.ne.jp
- B 山口情報芸術センター(YCAM)**
〒753-0075 山口市中央2-5-1
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
[開館時間] 10:00~20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)
[休館日] 火曜(祝祭日の場合は翌日)、年末年始
http://www.ycam.jp/ information@ycam.jp
- C 山口市市民会館**
〒753-0074 山口市中央2-5-1
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488
[開館時間] 8:30~17:15 [休館日] 年末年始
http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/ shiminkk@c-able.ne.jp

解答 **中也** A. ③ A:昔 B:今
(母校のグラウンドで元気に遊ぶ子どもたちの姿に過ぎ去った日の自分を重ねています。)

観覧 **の！**

◎「文学界」の資金難、青山二郎の装画、小林秀雄の熱弁などに感動した。(30代男性 「文学界」と中原中也)より
◎映画を体験することはこのことですね。(30代女性 「YCAM爆音上映会」より)
◎光によって表現されたステージで見上げることなく、上からの視線で見られたことも新鮮でした。(50代女性 能楽コラボレーション「LIFE-WELL」より)
◎中也の詩と実生活が相関していて、詩に込められていた気持ちが出来て良かった。(30代男性 「文学界」と中原中也)より



公益財団法人
山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

